

ROTARY INTERNATIONAL

大洗

OARAI ROTARY CLUB

ゴードン R. マッキナリー RI会長テーマ

「世界に希望を生み出そう」

2820地区スローガン

「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」

大久保 博之ガバナー

「ロータリーを楽しもう!!」

大洗RC会長のテーマ



2023~2024年度 会長 小野瀬 勝義 幹事 飛田 幸男

前回の例会報告

第2372回例会 1月18日 (木)

於・ 18:00~ 寺釜堀川集会所

★点鐘

★ニコニコBOX

- ・飛田会員 “昨年行われた高校生対象の梅の剪定講習会で指導しているところがNHKニュースに載りました。”

★幹事報告

飛田幹事

★会長の時間

小野瀬会長

★卓話“投資について”

小野瀬会員

投資は約40年近くやっていますが、ずーっと損ばかりしているので、本来ならここで皆さんに話をするほどの実績はありません。バブル崩壊後ずーっと右肩下がりなので、個人投資家の95%は損をしていると言います。

しかしアベノミクス以後の12年間は日経平均は上がり続けています。だから政府も後押しをして、NISAの幅を拡げ投資しやすい環境を作りました。さすがに右肩上がりの状況では利益を出している投資家が多いと思います。

皆さんはウォーレン・バフェットを知っていますか？世界的に有名な投資家です。彼の本を読んで投資と投機は違うということを理解しました。

短期間でバクチの様に勝負するのは投機です。

投資とは短期間では利益が出ないモノです。5年~10年のスパンで投資は考えなければならないと…。バフェットの教えだと、将来有望な会社の株を長期間持ち続けることだということです。たとえば、コカ・コーラの株は60年間ずーっと持ち続けているとのこと。炭酸飲料の会社は世界でコカ・コーラとペプシコーラしかないとのこと。世界の人口が約77億人で、近いうちに100億人を突破するという予測があるのと、発展途上国の貧しい国々が豊かになってきています。そうすると水を飲んでいたので、必ず炭酸飲料を飲むそうです。しかし今や新規に炭酸飲料を生産する会社は割に合わないの、新規参入はほとんど不可能だということです。新規参入の障壁の高い会社というのは独占になっていて、売り上げは途上国の発展に伴って自動的に上がって行くので、コカ・コーラは将来的にも有望な会社だということになります。こういう会社を長期投資するのが成功の近道だということです。

皆さんも知っているテスラはこの10年で約100倍に上がり、アップルは30倍、マイクロソフトは10倍になりました。

私の友達で車が好きな奴がいて、株の投資はほとんどやってないのですが10年以上前にテスラを150万円で買って、今1億円になっていると言います。

株の投資をやっていると、ある程度上がっていた

創立

事務所・茨城県東茨城郡大洗町磯浜町953

第1例会及び例会場・大洗磯前神社

昭和48年1月25日 常陽銀行大洗支店内TEL (029) 267-2133 第1例会日・木曜日 12時30分

ら途中売却してしまうモノです。これを見ても解るように、将来性のある会社を見つけ長期に保有することが重要です。私事ですが、去年の5月にオープンAI チャットGPTが話題になりました。ビル・ゲイツがAIは革命的な変化を持たらさだろうという記事を読み、早速オープンAI社を調べました。その会社は小さな会社なので上場してなく、マイクロソフトがそこに約1兆5千億円投資して、株式の49%を保有しているというので、すぐにマイクロソフトを買いました。そこでAIには半導体のチップが必要だと思い、オープンAIの半導体を作っている会社を調べたら、エヌビディアが作っていると解りました。AIに必要な半導体も将来性はあるだろうと思い買いました。7か月で約2倍になりました。きっと10年後には5倍以上になっていけば良いと希望的観測を持っています。

アメリカの株式は上げ下げはありますが、ずーっと右肩上がりです。個別株は難しいので、ETFを買ってみてはいかがでしょうか？S&P500のETFが良いと言われていますが、今までのパフォーマンスは飛びきり良かったのですが、これからも良いかどうかは解りません。手数料の高い投資信託がパフォーマンスが良いかということとそんなことはありません。ファンドマネージャーも、指数に負けては困るということで、S&P500の銘柄と同じような銘柄をたくさん入れているということです。

私は信越化学工業という会社に注目しています。信越化学工業が作っている塩化ビニルは、世界シェアの第1位です。世界中で大量に生産しているために、コカ・コーラ同様参入障壁の高い会社だと言われています。だから新規参入がほとんどありません。参入しても価格、量、開発等で到底かなわないからです。こういう会社は世界の人口が増加する、発展途上国が豊かになると同時に儲かる仕組みが出来ていると言われてます。それにシリコン、半導体にも進出しているので、将来性がある会社だと言われています。私もずーっと以前から注目していたのですが、買うには割高感があったので、3800円の時から、安くなったら買おうと思っていたうちに5800円になってしまいました。このように将来性のある企業は割高です。また、トヨタのような超大型株はPERは10倍、PBRも1.25と超割安です。しかも今期の収益が去年の1.6倍の3兆2000億円の利益を出してもそれほど上がりません。

不思議ですが、トヨタの時価総額は日本一の31兆円で、テスラの時価総額65兆円の半分でもありません。これは期待値が低いことを表しています。将来のトヨタが期待出来ないか、人気がないということ。自社株買いをどんどん進めて行けば上がるでしょうが、スピードは早くはないと思われませんが、解りません…。株式投資は企業の期待値に対して低いと、最高益を出しても、短期間には下がることがあるので、

基本的には世界で戦える企業に投資をすることで、世界経済は長期的には右肩上がりです。個別銘柄が難しいので、日経平均のETF、S&P500のETF、世界株に投資するオールカントリーのETFがお勧めです。これはバンガード、eMAXISスリム等のETFがあります。

株を買うということは、その企業のオーナーになるということです。株式会社とは株主のモノだからです。たとえば、マイクロソフトの株を買ったら、マイクロソフトの社員達は、株主である自分たちのために働いているということになります。また企業は、世の中のニーズがあるものを生産している訳であるので、それによって、世の中が豊かになるお手伝いを、競争しながらしていることになります。言葉を替えて言えば、その競争に勝ち抜いて行くだらうという会社に投資をするということです。つまり世の中に、少しは役にたっているということにもなりませんか…。アダム・スミスが資本主義の原理についてこう述べています。“会社という器を使って世の中を良くする。資本主義では、競争という原理を使って効率良く社会を良くする、世の中を良くすることだ”と。しかし日本の教育では、このようなことを教えないので、お金を儲けることに良いイメージがないのかも知れません。株式投資とは、企業に投資をして、オーナーになって、社会の発展に寄与しながら、利益を享受するということです。

次回例会 第2374回例会
2月8日(木) 12:30～ 大洗磯前神社
イニシエーション・スピーチ 関会員

今月は職業奉仕月間です